

DANIEL E. HO

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Senior Fellow at the Stanford Institute for Human-Centered Artificial Intelligence (HAI)
- Serves on the National Artificial Intelligence Advisory Committee (NAIAC), advising the White House on A.I. Policy
- Senior Advisor on Responsible AI at the U.S. Department of Labor, on the Committee on National Statistics (CNSTAT) of the National Academies of Science, Engineering, and Medicine



ダニエル・E・ホーは、ウィリアム・ベンジャミン・スコットおよびルナ・M・スコット法学教授、政治学教授、コンピュータサイエンス教授（名誉教授）、スタンフォード人間中心人工知能研究所（HAI）上級研究員、スタンフォード経済政策研究所上級研究員、規制 評価 ガバナンス研究所（RegLab）所長です。

ホー氏は、AI政策についてホワイトハウスに助言する国家人工知能諮問委員会（NAIAC）の委員、米国労働省の責任あるAIに関する上級顧問、全米科学工医学アカデミーの国家統計委員会（CNSTAT）の委員、米国行政会議（ACUS）の公的メンバー、ABAの法律と人工知能に関するタスクフォースの特別顧問を務めています。

彼の研究は、行政法、規制政策、差別禁止法に焦点を当てています。RegLabでは、内国歳入庁、財務省、環境保護庁、労働省、サンタクララ郡公衆衛生局、シアトルおよびキング郡公衆衛生局など、さまざまな政府機関とのパートナーシップを通じて、公共政策におけるデータサイエンスと機械学習の大きな影響力を持つ実証プロジェクトを開発してきました。サンタクララ郡とのコラボレーションは、全米都市保健当局協会から「COVID-19 パンデミック中のコミュニティ」に貢献する「最高レベルのプログラムイノベーション」に対して、革新的実践ゴールド賞を受賞しました。

イエール大学ロースクールで法学博士号、ハーバード大学で博士号を取得し、米国コロンビア特別区控訴裁判所のスティーブン・F・ウィリアムズ判事の書記官を務めました。スタンフォード大学ロースクールのジョン・ビンガム・ハールバット優秀教育賞、国際人工知能と法律会議の最優秀論文に対するキャロル・ハフナー賞、アメリカ法と経済評論誌の最優秀実証論文賞、ACM 公平性、説明責任、透明性会議 (FAccT) の最優秀論文賞、AAAI/ACM AI倫理、社会会議 (AIES) の最優秀論文賞、Political Analysis 誌の最優秀論文に対するウォーレン・ミラー賞など、多数の賞を受賞しています。

Topics

- Advisors
- Asia
- Data Science
- Government
- Law and Policy